

令和 6 年度学校評価実施計画

学校名	大分県立別府支援学校鶴見校
-----	---------------

前年度評価結果の概要	<p>○肢体不自由教育の充実に向けた専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が共通理解を深め、学校組織として指導内容等の整理及び系統性の確立を図りつつ、教科化について協議・検証を進めていく。 ・ICT機器をはじめ各種教材教具の活用スキルを一層高めるとともに、児童生徒への支援の充実につなげる取組を実践していく。 <p>○関係機関と連携した安全・安心な学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別府発達医療センターとの連携に係るさまざまな取組について、改めて検証・改善を図り、連携体制を一層密にしていく。 ・児童生徒・保護者に対して、より質の高い情報の提供を行っていく。 <p>○幼児児童生徒と向き合う時間確保のために3校で連携した働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3校連携による研修等の取組について、連携の効果等を検証し、さらなる精選・改善を進めていく。 ・職員数の減少時における円滑な学校運営に対応できる体制づくりを検討する。
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標
幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育実践をとおし、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するとともに、豊かな人間性を育み自立と社会参加できる幼児児童生徒を育成する。	○幼児児童生徒一人一人の主体的な学びを保障するために、医療・福祉・教育等関係機関と連携を深める。 ○火山噴火、地震、火災等の自然災害時及び幼児児童生徒の緊急時に対し、生命を守るための安全教育を充実させる。	○人や物とのかかわりを大切にした肢体不自由教育の充実 ○関係機関と連携した安全・安心な学校づくり ○幼児児童生徒と向き合う時間確保のために3校で連携した働き方改革の推進

※ P L : プロジェクトリーダー、S L : サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	P L S L
人や物とのかかわりを大切にした肢体不自由教育の充実	<p>【校内研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「校内研究は学校教育目標や育成を目指す幼児児童生徒像の達成と連動している」の回答が3以上(4段階) <p>【教育課程の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケートで「学校教育目標を達成する観点から、指導内容の選択・組織、授業時数の配当及び指導の形態の選択について検討し、教育課程を編成している」の回答が3以上(4段階) 	<p>○周囲の人や物への関心を高めたり、他者への思いを伝えたりするなど、自立活動の授業改善と検証</p> <p>○「生活」「社会」の授業実践と検証</p> <p>○「自立活動」の教科化の検討</p>	<p>【校内研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の目指す姿に向けた自立活動の指導内容や評価について提案授業を行い、成果や課題について検証を実施 [各学部1事例] <p>【教育課程の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科化した「生活」「社会」について、学部会等で検証(成果と課題、改善方法等の検討) [年間3回] ・「自立活動(一部の内容)」等の教科化を検討するための研修や会議を実施 [年間3回] 	<p>P L 研究主任</p> <p>S L 学部主事 ICT活用推進員</p> <p>P L 教務主任 研究主任</p> <p>S L 学部主事</p>
関係機関と連携した安全・安心な学校づくり	<p>【関係機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケートで「外部専門家による助言をうけ、幼児児童生徒の個別の指導計画を改善する等、教育内容・教育活動の充実に生かしている。」の回答が3以上(4段階) ・保護者アンケートで「別府発達医療センターとの適切な連携が行われている」の回答が3以上(4段階) <p>【学校安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケート・保護者アンケートで「児童生徒の健康や安全の維持に関する取り組みが適切に行われている」の回答が3以上(4段階) <p>【保護者連携】【学校理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケート・保護者アンケートで「学校教育活動に関する情報が適切に提供され、学校と保護者の連携が図られている。」の回答が3以上(4段階) 	<p>○医療・福祉関係者、保護者等とのネットワークの強化</p> <p>○児童生徒本人・保護者の思いを取り入れた授業の構築</p> <p>○ホームページ・通信等による情報発信・保護者との情報共有</p> <p>○ホームページやその他通信手段を利用し、学校教育活動や進路・支援等に関する情報を提供するとともに、保護者との情報共有の充実を図る。</p>	<p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別府発達医療センターのPT・OT・STからのアドバイスを活用した授業改善 [各学部1事例以上] 【防災】 ・別府発達医療センターとの合同避難訓練、緊急時対応訓練等の実施及び検証 [年間2回以上] 【ケース会議】 ・ケース会議等の実施及び参加 [年間2回] <p>【保護者連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者懇談で個別の教育支援計画をもとに児童生徒本人や保護者の教育的ニーズを確認 [7月まで] ・児童生徒本人や保護者の教育的ニーズを取り入れた個別の指導計画(後期)の作成 [8月まで] ・個別の指導計画への反映と授業実践 [12月まで] ・学年末懇談で授業実施後の評価を保護者と確認。次年度の個別の指導計画(前期)の作成 [2月] <p>【学校理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの定期的な更新 [月平均2回以上] ・学校だより、学部通信の発行 [各年間3回以上] ・進路だより、保健だよりの発行 [各年間2回以上] ・電子メール等を活用した保護者への情報提供体制の構築 [8月まで] 	<p>P L 研究主任 進路指導・支援主任</p> <p>S L 教務主任 学部主事 特別活動・生徒指導主任 保健主任</p> <p>P L 教務主任</p> <p>S L 学部主事</p> <p>P L 教務主任</p> <p>S L 研究主任 特別活動・生徒指導主任 進路指導・支援主任 保健主任 学部主事</p>
幼児児童生徒と向き合う時間確保のために3校で連携した働き方改革の推進	<p>【残業時間の削減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックの心理的な仕事の負担(量)の項目が3以上 <p>【3校連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同実施あるいは分担の検討や業務内容を精選 [1事例以上] 	<p>○校内運営体制の再構築</p> <p>○別府支援学校3校の学校行事や研修会、各分掌の業務内容を照らし合わせて、共同実施又は業務分担の検討を行い、業務改善</p>	<p>・衛生委員会がタイムカードによる長時間勤務の状況の把握と改善策の検討 [年2回]</p> <p>・業務上の困りについて学部主事会で共有と改善策の検討 [月1回]</p> <p>・定期的な打ち合わせや「会議・打合せスペース」を活用した情報共有[適宜]</p> <p>・各種研修会の合同実施及び検証 [年間3回]</p>	<p>P L 副校長 衛生推進者</p> <p>S L 教務主任 研究主任 学部主事</p>